

恋愛映画から見る各国の愛情表現の違い

68班: 篠原美吹、松尾かえで、藤目梨央

Abstract

The purpose of this study is to reduce misunderstandings caused by cultural differences in a global society by learning about other cultures, fostering each respect, and facilitating smoother communication. The research method involved reviewing previous studies to form a hypothesis, analyzing movies, and conducting surveys with students from KOZU High School as well as with Americans and Koreans using a mobile application. As a result, it was found that although the values in communication and perspectives on the opposite sex seemed similar among these countries, there were also differences. Therefore, the study concludes that in intercultural communication, it is essential to understand others' cultures in order to respect each other's viewpoints.

要約

本研究の目的は、グローバル社会において相手の文化を知ることによって文化の違いによる誤解を減らし、互いの文化を尊重できるようにし、コミュニケーションをより円滑にすることである。研究方法は、先行研究を見て仮説を立て、映画を見て分析し、高津高校の生徒や、アプリを用いてアメリカ人、韓国人にアンケートを取りそれらの結果を比較した。結果的に、それぞれの国ではコミュニケーションにおいて大切にすることや、異性に対する考え方が似ているようで異なっていた。よって、異文化コミュニケーションにおいて、互いの意見を尊重するために、相手の文化をよく知ることが求められると結論づけた。

1 はじめに

SNSを通して、日本人と外国人とで愛情表現や恋愛における価値観の違いがあることが気になった。そこで、日本と海外の恋愛映画を見比べることでその違いを研究していくことにした。この研究の結果から、国によって人柄や性格の違いが見られ、そこからそれぞれの国の文化の違いも見えてくると考える。

2 研究方法

《調査1》

学園恋愛映画に限定し、日本映画、アメリカ映画、韓国映画の3つを比較し、愛情表現や恋愛観の違いを見つけ出す。映画は、後ほどアンケートを学生対象にすることから、学生をモデルとした映画を3国それぞれで選択した。

日本映画では「ヒロイン失格」、アメリカ映画は「キスから始まる物語」、韓国映画では「恋愛革命」を選んだ。

また、これらの映画は学生モデルの映画の中でも特に人気のあるものである。

《調査2》

その後各国の学生に対し、アンケートを取ることで、各国の学生が恋愛に対してどのような価値観を抱いているのか分析し、違いや共通点を見つけ出す。

3 結果

《実験1》

日本、アメリカ、韓国の3カ国の映画を視聴し、作中で見られる愛情表現の違いや恋愛観の違いについて比較した。

日本の作品中では控えめで言葉で愛情を表現するよりも行動に移し、さり気ない気遣いや優しさを示す場面が多く見られた。

アメリカの作品中ではスキンシップや直接的な愛情表現が多く、公共の場でも積極的に行う場面が多く見られた。

韓国の作品中では友達同士のようなスキンシップが多く、恋人同士が互いに家族のように接している場面が多く見られた。

《実験2》

日本人は高津高校78期生253名に、アメリカ人と韓国人にはハロートークというアプリを使用してそれぞれ35名と25名にアンケート調査を行った。大阪城公園にて外国人に直面での調査も行ったが、国籍と年齢が実験の対象に当てはまらなかったため、アプリを使うことで対象とする人に対して再度調査を行うことにした。以下は質問内容と選択肢、そしてそれに対する割合だ。

1. 恋愛においていちばん大切にしたいもの

(愛情、自由、信頼、尊重)

→日本では愛情や自由が多いが、韓国とアメリカでは信頼を大事にする人がほとんど

2. 束縛はどのくらい許容できるか

(全くできない、ある程度許容できる、束縛される方が安心する)

→日本、韓国では許容できるが80%以上であるが、アメリカは許容できない人が70%近く

3. パートナーに期待する役割

(感情のサポート、自分の成長、コミュニケーションの相手)

→日本、韓国はコミュニケーションの相手が半数近くであるが、アメリカは自分の成長が70%

4. 男女の友情

(あり、なし)

→日本、アメリカはありが90%近くであるが、韓国はなしが半数近く

5. 恋人と意見が合わない時はどうするか

(距離を置いて考える、話し合っ折衷案を出す)

→日本、韓国はほとんどが話し合っ折衷案を出すであるが、アメリカは40%が距離を置いて考える

6. 四六時中連絡をしたいか

(1したい、2どちらかと言えばしたい、3どちらかと言えばしたくない、4したくない)

→日本ではしたくない派が60%、アメリカではしたくない派が以上、韓国ではしたい派がほとんどだった。

4 考察

〈日本の文化〉

- ・人と関わる際に間接的なコミュニケーションを好む
- ・感謝の気持ちや謝罪を頻繁に伝える
- ・嫌なことがあったらお互いが納得できるまでしっかり話し合いをする

〈韓国の文化〉

- ・友情や信頼を構築する努力をする
- ・人と関わる際に直接的なコミュニケーションを好む
- ・パートナーへの愛情が大きい
- ・常に連絡を取り合うため、生活の中での恋人の存在が大きい

〈アメリカの文化〉

- ・公共の場でも愛情表現を積極的に行うことから、人目を気にすることがあまりない。
- ・恋愛感情はなしに、男子と女子の友好関係が良く、フレンドリーに会話をする
- ・個人的な時間を大切にする

5 結論

国によって恋愛に対する価値観や文化が違うので、愛情表現の仕方が変わってくるのが分かつ

た。このことから、これから海外の人と関わる機会や交流する機会がある時は、自国の文化ばかりにとらわれず異文化も理解し、多角的に関わる必要があると分かった。

6 参考文献ならびに参考Webページ

シャウウェッカー光代「日本と海外の愛情表現はどれだけ違う？ラブラブの夫婦仲を保つコツ！」All about 2024/01/07 <https://allabout.co.jp/gm/gc/221462/>(参照2024-10-10)

「坂口健太郎が感じた日本と韓国の愛情表現の違いー『愛している』という言葉の重み」
2024/10/08 <https://www.gajapan.jp/article/20241008-kentaro-sakaguchi>
(参照2024-10-10)